

オーサーシップ

科学論文に著者名を明記することにより、適切な個人が著者として認められ、研究の責任を負うこととなります。科学者と論文の関係を意図的に偽ることは、論文の内容そのものの信用を傷つける不正行為と見なされます¹。

オーサーシップの普遍的な定義はありませんが¹、一般に「著者」とは、研究に多大な知的貢献をした個人と考えられます²。

国際医学雑誌編集者委員会（ICMJE）が定めたオーサーシップに関するガイドラインには、「著者と指定された者はすべて著者としての資格を有し、著者としての資格を有する者はすべて列記すべきである」と記載されています²

著者として認められるには、以下の4つの基準をすべて満たす必要があります²。

- 研究の着想と企画、データの取得、分析、解釈に実質的な貢献をしている。
- 知的なコンテンツに関する記事を執筆または改定している。
- 仕事のいずれかの部分の正確性、または完全性に関して、仕事のすべての面で説明責任を有することへの合意。
- 最終版を承認している。

以下に一般的なガイドラインを紹介します。（研究分野によって異なる場合があります。）

- 著者の順序は「共著者の共同決定」とする²。
- 研究に関与したが、ジャーナルの著者基準を満たさない者は、「Contributors（貢献者）」または「Acknowledged Individuals（定評のある人々）」として列記する。これには、助言によって研究を助けた人、研究場所を提供した人、学部の監督者、経済的支援を獲得した人などが含まれる^{2,3}。
- 複数の拠点にわたる大規模な治験の場合は、一般に医師とセンターのリストを公開し、各貢献についての説明を添える。グループによっては、著者をアルファベット順に列記し、すべての著者が研究と発表に均等に貢献したという説明を添える場合もある^{1,2}

以下の3種類の著者は許容されません。

- ゴーストオーサー：論文発表に相当の貢献をしているが、研究自体に対する貢献としては評価されない（一般的にスポンサーから報酬を得ている）。
- ゲストオーサー：明確な貢献はないが、論文出版の可能性を高めるために列記される。
- ギフトオーサーシップ：研究との希薄な関係にのみ基づく^{1,3,4}。

オーサーシップの問題を適切に対応しないと、争議につながる場合があります。争議の中には、不正行為（だれかの役割を偽るなど）に起因するもののほか、「相当の」貢献をしたと考えられる程度やオーサーシップが正当かどうかなど、解釈に関する疑問に起因するものがあります¹。

そのほか、研究に関与したのに著者や貢献者として列記されていない、だれかが自分のアイデアを取って論文を発表したのだから自分に完全なオーサーシップがある、自分の許可なく自分の名前が論文に記載されている、などの問題もあります。

問題について申し立てがあった場合は、調査が行われ、ジャーナル編集者と著者の所属機関が最終決定を下します。

曖昧性や誤解を防ぐため、研究を始める前にミーティングを開き、各自の役割がどのように認められるかを文書化しておくことを強くお勧めします¹。

オーサーシップに関する問題は、複雑であり、かつ慎重に扱うべきです。そのような状況に直面した若手研究者が、自らの発言によって自身の定評とキャリアに傷が付くことを恐れる場合もあります¹。各ジャーナルのオーサーシップに関するガイドラインと業界の条件を時間をかけて十分に理解してください。問題をどのように処理すべきか難しい状況に陥った場合は、信頼できるメンターか指導教官に相談してください。

[裏面に続く](#)

オーサーシップに関する論争とその防止方法*

行為	内容	非倫理的？	取るべき行動
科学者と論文の関係の偽装	<p>研究にほとんど、またはまったく貢献しなかった人の名前を挙げる、貢献した人の名前を挙げない¹、または「実際よりも高いレベルまたは貢献度を示す順序で著者名を並べている」こと³。</p> <p>これには、著者／貢献者の許可を得ずに原稿を提出することも含まれます¹。</p>	<p>はい。</p> <p>ICMJEには以下のように書かれています。「著者と指定された者はすべて著者としての資格を有し、著者としての資格を有する者はすべて列記すべきである」¹。</p> <p>不正表示には「ゴースト」、「ゲスト」オーサーの表示も含まれます²。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 論文を投稿する前にジャーナルの投稿規定を見直す。ジャーナル編集者はすべての貢献者を正直に表示するよう著者に要求する。 これには「相当な貢献をした」貢献者、プロのライター、そのほか研究に貢献した全員が含まれる。 論争を防ぐため、だれが何をし、オーサーシップをどのように扱うかについて最初に明確に定める。 オーサーシップに関して自分が不当に扱われていると感じた場合は、信頼できるアドバイザーに相談する。
ゴーストオーサーシップ	<p>通常、著者や貢献者として表示されないプロのライター（スポンサーから報酬を得ることが多い）を指します。</p> <p>出所不明のデータ分析への貢献もゴーストオーサーシップと見なされる場合があります³。</p>	<p>はい。</p> <p>プロのライターの貢献を明示しないことは不正行為と見なされます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 原稿の執筆のみに参加し、研究の企画、実施あるいは結果の解釈に貢献しなかったプロのライターは、謝辞のセクションに明記する必要がある。その際、執筆に対して報酬を受け取ったかどうか、受け取った場合にはどこから受け取ったかなど、潜在的な利益相反についての情報も付記する³。 オーサーシップに関する各ジャーナルのガイドラインを参照する。 その他のリソースを参考にする：ICMJE²、世界医学雑誌編集者協会(WAME)⁴、欧州メディカルライター協会(EMWA)⁵、米国メディカルライター協会(AMWA)^{6,3}。
ギフト／ゲストオーサーシップ	<p>研究とは希薄な関係のオーサーシップ、または特定の名前を入れることで論文が出版される可能性が高まるという予想にのみ基づくオーサーシップ。</p>	<p>はい。</p> <p>ゲスト／ギフトオーサーは目に見える貢献をしていません³。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ゲスト／ギフトオーサーによる貢献がある場合は、論文投稿前に吟味する。 貢献が許容されるかどうか疑問がある場合は、各ジャーナルのオーサーシップガイドラインを参照し、編集者に相談する。

*疑問がある場合は、常に教授、アドバイザー、または正しい行為を指導する権限を持つ人物に相談してください。

参考文献

- 出版倫理委員会(COPE). オーサーシップに関する問題の取り扱いについて:新しい研究者のためのガイド. 2003年, ダウンロード: <http://publicationethics.org/files/2003pdf12.pdf>. アクセス日: 2017年6月17日
- 国際医学雑誌編集者委員会(ICMJE). 生物医学系ジャーナルに提出する原稿に対する一律の要件:研究の実施と報告における倫理的注意事項:著者と貢献者 ウェブサイト: <http://www.icmje.org/recommendations/browse/roles-and-responsibilities/defining-the-role-of-authors-and-contributors.htm>. アクセス日 2017年6月17日.
- Scott-Lichter D and the Editorial Policy Committee, Council of Science Editors. CSE's White Paper on Promoting Integrity in Scientific Journal Publications, 2012 Update. 3rd Revised Edition. Wheat Ridge, CO: 2012. Available at: http://www.councilscienceeditors.org/files/public/entire_whitepaper.pdf. アクセス日2017年6月17日.
- 営利企業が紹介したゴーストライターに関する世界医学雑誌編集者協会(WAME)の方針表明. ウェブサイト:<http://www.wame.org/wamestmt.htm> - ghost. アクセス日 2017年6月17日
- Jacobs A, Wager E. European Medical Writers Association (EMWA) Guidelines on the role of medical writers in developing peer-reviewed publications. *Curr Med Res Opin.* 2005;21:317-321. ウェブサイト: <http://www.emwa.org/Mum/EMWAguidelines.pdf>. アクセス日 2017年6月17日
- 米国メディカルライター協会(AMWA). 科学出版論文に対するメディカルライターの貢献に関する立場表明 ウェブサイト: https://cymcdn.com/sites/www.amwa.org/resource/resmgr/about_amwa/JointPositionStatement.Profe.pdf. アクセス日 2017年6月17日